

7/23(火) の発表

その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

報道発表資料の配付日時

7/23(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者の発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 ( ) 時 分～	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>帯広保健所 保育所 15名 ロタ ……別紙1</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌患者の発生について発表するもの)</p> <p>千歳、紋別、中標津保健所 ……別紙2</p>		
参 考			

報道 (取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	千歳、紋別、帯広、中標津保健所	

担 当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)</p> <p>電話 (代 表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
--------------	--	--	--

## 感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）7月23日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111（内線: 25-506）

FAX: 011-232-2013

令和元年（2019年）7月22日（月）、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

## 記

## 1 発生の探知

令和元年（2019年）7月19日（金）に、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員が下痢、おう吐、発熱等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

## 2 発生の概要

帯広保健所管内の保育所の園児13名及び職員2名の計15名が、7月16日（火）から7月22日（月）にかけて、下痢、おう吐、発熱等の症状を呈し、うち8名が医療機関を受診し、治療を受け、1名が入院した。

## 3 現在の状況

7月23日（火）現在、入院中1名も含め症状は回復もしくは快方に向かっている。

## 4 経過

7月16日（火）～ 7月22日（月） 下痢、おう吐、発熱等の有症者発生  
7月16日（火）～ 7月18日（木） 医療機関において、有症者のうち3名の便を検査した結果、3名全員からロタウイルスを確認  
7月19日（金） 保育所から保健所に通報

## 5 感染経路

現在調査中

## 6 対応

帯広保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

## 7 その他

この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

## ロタウイルスとは

ロタウイルスは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因ウイルスである。ロタウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、冬期から春期に集中して発生する。  
なお、成人でも感染が見られることがある。

主 症 状：下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱

潜 伏 期 間：2～4日

経 過・予 後：通常1～2週間で回復

## 腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）7月23日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111（内線：25-506）

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第29週（7月15日（月）～7月21日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

## 記

## 1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
千歳	患者 (O157)	男性 (30歳代)	7月8日（月） 腹痛、下痢	7月10日 （水）	7月16日 （火）	症状は快方に向か っている。（入院は していない。）	—
紋別	患者 (O157)	女性 (60歳代)	7月10日（水） 腹痛	7月12日 （金）	7月16日 （火）	入院していたが、 症状は回復し、既 に退院した。	—
中標津	患者 (O157)	男性 (70歳代)	7月13日（土） 腹痛、下痢	7月16日 （火）	7月17日 （水）	症状は快方に向か っている。（入院は していない。）	—

## 2 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

## 3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。  
＜報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。＞

〔参考〕 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

7月21日（日）時点

区分	1	8	18	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患者			1	7		1	1	1			1					29	1	3	45
無症状病原体保有者				7	1	7	1				1					5		6	28
計			1	14	1	8	2	1			2					34	1	9	73

(単位：人)

\*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

\*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）